

関税って何？

親子で学ぶ 経済の話①

関税って、 ひとことと言うと？

「関税」とは、外国から入ってくる商品に
かける「税金」のこと。

たとえば、海外から日本に運ばれてくるチ
ョコレートや車、服やおもちゃに関税がか
けられることがあります。それは、ちょっ
とした「入場料」のようなもの。「外国か
ら来る商品は、日本に入るときにお金を払
ってね」というルールがあるのです。

関税の目的とは？

1 外国の安い商品に負けられないようにするため

たとえば、安くつくられた外国の服が日本に
たくさん入ってくると、日本の服屋さんの商
品が売れなくなってしまいかもかもしれません
⇒ 関税をかけることで、国内のお店や産業を
守ります

2 国のお金を増やすため

関税は税金のひとつ！
⇒ 国の収入になり、そのお金で道路や学校を
つくったりできるのです

3 国同士の「ケンカの道具」にもなる

「あなたの国が変なルールをつくったから、
うちも関税を上げるよ！」というような「報
復関税」も起きます
⇒ 経済のバランスが崩れ、世界中に影響が出
ることも……

りんごで学ぶ！ 関税のしくみ

- ◇🍏 日本のりんご：1個150円
- 🍏 アメリカのりんご：1個100円

そのままだと、安いアメリカのりんごを買いたく
なりますよね？でも、日本の農家さんが困ってし
まうかも。そこで——

🇺🇸 アメリカのりんごに関税30円をかける！
→ 100円+30円=130円に。

すると、日本のりんご（150円）とあまり変わら
ない価格になります。これで日本のりんごも同じ
ように売れるようになるのです。

関税がない→自由貿易も 増えている？

関税は「かける」ばかりではありません。「自由
貿易」という取り決めで、関税をなくす国同士も
増えています。

たとえば、日本とオーストラリアが「お互いの農
産物には関税をかけない」と約束すると、もっと
安く・多くのものが売買できるようになるので
す。

でも、いいことばかりではありません。たしか
に、安くてよい商品が入ってくるのは嬉しいこ
と。でもその反面、国内の産業が弱くなってしま
うことも。つまり関税は、「守る力」と「バラン
スをとる力」をもっていると言えるのです。

